

名取市

自治体・企業・団体・学校向け



震災復興学習プログラム・防災学習プログラム

プログラムの目的について

仙台空港のある宮城県名取市に震災復興の未来を見据えたモデルタウンが建設されます。
(総事業予算 約5億4,000万円、事業面積 約4,080㎡) (2012年11月-12月頃完成予定)

このモデルタウンは震災時に主に問題となる「被災者の雇用」「被災者の避難」「食糧」「エネルギー」の全ての解決を試みた施設です。また、単に震災の物理的問題を解決する施設にとどまらず、震災の教訓を伝える学習施設も兼ねています。

『震災で電気を失くしてみても、人間が電気や携帯などに頼り切っている事が分かりました。電気も携帯も無い環境で、自分で火をおこし、そこに菜っている食材で食事をつくること。生きる力を呼びさます、震災の教訓を伝える学習施設でありたい(モデルタウン総合プロデューズ島田昌幸談)』本プログラムは『震災復興の未来』について学び、知恵を伝授します。

スケジュール(約2時間予定)

(出発時間により、スケジュールは前後します)

(全日程を通して、講師はお客様のバスに乘車せず別途自家用車でバスに併走いたします)



①名取周辺会議室(約40分)

会議室にて講師と合流。震災復興のモデルタウン構想をお話しいたします。具体的には、プロジェクト名・キャッチコピー・グランドデザイン・テーマ・活動内容・今後の構想等多岐にわたります。終了後、島田氏のプロデューズするラスクをプレゼントします。

移動 (約15分)

ホテルニュー水戸屋宿泊(前泊・後泊に選択可能)
前泊・後泊のどちらかに秋保温泉ホテルニュー水戸屋を選択いただきます。旅館にて震災時の状況から今に至るまでの旅館の状況、その時の対策、普段準備してよかった事や今後の防災対策等を旅館関係者から直接お話をいただく事ができます。
(会議室等にて1時間程・別途有料)



移動 (約30分)



③ゆりあげ地区日和山視察(約20分)

かつては「活気ある漁港」だった人口約7000人のゆりあげ地区。今回の津波で地図上から姿を消したと報道されました。名取市最大の被災地区である「閑上地区」を一望できる日和山から、震災当日の状況を講師からご案内いただきます。こちらでプログラムは終了となります。

移動 (約15分)

②震災復興モデルタウン建設地

*オープン後は建設施設視察 (約30分)

講演終了後、バスに乗り震災復興のモデルタウンへ。建設中のモデルタウンをガイドいただき、徒歩にて視察。視察後にモデルタウン建設のボランティア(植樹会・軽作業)へ。*荒天時はプログラム中に別途ボランティア(モデルタウンに利用されるガーデニングの小物作り等)をご用意。当日に講師からご案内いたします。オプションとして、希望者にモデルタウンに置かれる枕木に御社名等(1団体1つ)彫ることが可能です。(事前申込みのみ、別途有料)



事業規模:5億4,000万円
事業面積:4,080㎡

プログラム講師履歴



島田昌幸氏

株式会社ファミリア
代表取締役社長

講師経歴

- 2005年 有限会社JICC設立。
- 2006年 経済産業省平成18年度起業型人材育成事業採択
厚生労働省若チャレ事業採択
- 2007年 国土交通省認定観光地域プロデューサーに認定
千葉県富津市金谷(人口1600名)『石と芸術のまち金谷』コンセプト設計
地域住民参加収益型、観光案内所兼書道カフェ「観光案内所石の舎」設立
- 2008年 千葉県富津市金谷で地場産品加工場・販売所「海農里(みのり)」設立
- 2009年 経済産業省平成20年度中小企業高度人材確保長期企業内実務研修制度整備委託事業
農林水産省平成20年度農村活性化人材育成派遣支援モデル事業採択
全国中小企業団体中央会農商工連携等人材育成事業採択
国土交通省観光地域づくり人材育成ガイドライン検討会議委員
- 2010年 株式会社ファミリア設立
総務省地域力創造アドバイザー選定
- 2011年 日本CSR大賞準グランプリ受賞(公益法人日本財団)
多賀城市震災復興検討委員

【注】島田氏が出られない場合は、(株)ファミリアの社員が対応することになりますので予めご了承ください。